

川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



# エコちゃんず通信 No. 49

2022. 3. 30 発行

エコちゃんず通信は、CC かわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

## 「脱炭素かわさき市民会議」 振り返り会合を実施しました。



脱炭素かわさき市民会議では「川崎の2050年脱炭素社会」の実現に向けて、無作為抽出（くじ引き）で選ばれた川崎市民約70名が最新情報を学びながら話し合い、2021年11月に77項目の市民提案を公表し、川崎市に提出しました。（主催は脱炭素かわさき市民会議実行委員会、共催は一般社団法人環境対策対話研究所と川崎市地球温暖化防止活動推進センター。）

その後、参加市民への振り返りアンケートを行い、その中に「市民提案の実現に向けて、自分たちも何らかの形で関わっていききたい」という声もあったことから、2月26日（土）のオンライン会合に約30名が参加して、あらためて市民会議を振り返るとともに、今後の活動について意見交換を行いました。主催者側から「脱炭素かわさき市民会議プラットフォーム」（事務局は川崎市地球温暖化防止活動推進センター）を設ける提案があり、今後、賛同した参加市民、関係者約40名にて、脱炭素社会の実現への取り組みが始まることになりました。今後の活動に期待いたします。

## みんなでつくる「暮らしのエコ化計画」の 改訂版作成&WEB化完成

コロナ感染の広がる中、今までの環境教育資料の蓄積をアウトプットして作成したエコ化計画も、今年度は中身を更新し改訂版と、教師用資料も作成しました。いずれも教師の皆さんからのご意見を頂きながらそれらを反映させて作成し、市内小学校に各2部配布し、希望する学校には児童分も配布しました。また、今学校が進める「GIGAスクール構想」に沿って、児童が容易にアクセスできるウェブサイトも作成しています。

ぜひ多くの児童の皆さんに使ってほしいと思います。

みんなでつくる「暮らしのエコ化計画」のページができました

みんなでつくる「暮らしのエコ化計画」

2050年、私たち、みんなの力で二酸化炭素の排出ゼロをめざして、できることをからやってみよう。  
ご家庭で、学校の教材として、お使いいただけます。7つのテーマについて、資料集とワークシートからなっていますので、取り組みやすいところから挑戦してみてください。夏休みの自由研究にも最適です。

みんなでつくる「暮らしのエコ化計画」のページは [こちら](#)

### 編集後記

当センターの所在する高津区溝口地区は、「脱炭素アクションみぞのくち」としてモデル地区となっています。当センターとして、も2022年度も脱炭素社会の実現に向けた様々な取組に向けて活動してまいりますので、引き続き宜しくお願い致します。

発行：川崎市地球温暖化防止活動推進センター  
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1  
ノクティ2 11F 高津市民館内  
電話：044-813-1313 FAX：044-330-0319  
メール：office@kwccca.com  
URL：https://www.cckawasaki.jp/kwccca/

※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた認定特定非営利活動法人アクト川崎が運営しています。

【開室日】水曜日～日曜日 午前10時～午後5時

【閉室日】月曜日、火曜日、年末・年始、高津市民館閉館日



かわさきSDGs  
ゴールドパートナー

## 前田道路様が脱炭素チャレンジカップ2022で マクドナルドオーディエンス賞受賞！



川崎市高津区久地にある前田道路株式会社西関東支援川崎営業所様が脱炭素チャレンジカップ2022の「企業・自治体」部門のファイナリストとして、2月15日（火）に「まえだTEQ・まえだパークのグリーンインフラの整備」についてプレゼンテーションを行い、マクドナルドオーディエンス賞を見事受賞されました。

気候危機の時代、様々な側面からのアプローチが重要とされるなか、道路という最も基礎となるインフラ整備のなかで、温暖化対策として進める保水舗装や遮熱舗装、低温舗装技術、雨水貯留施設キットを展示した「まえだTEQ」、適応策としての地域の防災公園として「まえだパーク」が設置されたことは素晴らしい取組です。

2021年度の川崎市「スマートライフスタイル大賞」最優秀賞も受賞されました。当センターで半年以上実物展示をしていただき、訪れる多くの方に気候変動をより身近なものとして感じて頂くことが出来ました。

## 環境出前授業の参加者数 11,235人

2021年度の当センターに所属する5つのプロジェクトが行う小中学校向けの環境出前授業を受けた児童生徒数が、初めて1万人を上回り、11,235人となりました。学校数としては、希望された小中学校が99校、実施できた学校が92校となり、非常に活発な環境学習活動が展開されました。

内容としては、特に温暖化対策・脱炭素やSDGsといった今課題となっているテーマの授業が多数実施されました。

区ごとの実施実績								
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	合計
実施校数	13	14	19	12	11	9	14	92
実施人数	1,325	1,760	1,722	2,437	1,301	1,095	1,595	11,235

## 川崎市内事業者の脱炭素の取組紹介

### 川崎信用金庫

百合丘支店新店舗を省エネルギー性能の高い建物にし、また、「実質再生可能エネルギー100%の電力プラン」の導入や、ロビーの一部を国産木材により木質化するなど、環境に配慮した店舗となっています。加えて、プラスチックごみ削減のため、職員向けウォーターサーバーの導入によるマイボトルの利用推奨や、デジタルサイネージ等でカーボンゼロに関する普及啓発も行っています。



認証 ロビーの一部に国産木材を使用 カーボンゼロに関する普及啓発

### グリーンフーズあつみ 「おつけもの慶」

製造時にできる農産物の端材を活用し、食品ロスを減らすための事業を構築。販売容器の使い捨てプラスチックを年間85%削減したほか、再生可能なバイオマス製品やリユース製品等を積極的に使用して環境負荷の低減と地球環境保護に取り組んでいます。



下のプラスチック容器を上バイオマスプラスチック袋にしてプラスチックの使用量を削減



# 春休み エコ体験教室

毎年恒例の「小学生 春休みエコ体験教室」は、今年もオンラインと会場で開催されました。  
約650名の方にお申込みいただき、ほぼ全講座が抽選となりました。  
オンラインも会場も子ども達の楽しそうな笑顔に出会えた4日間となりました。



会場講座

オンライン講座

3/19 (土) ペットボトルの中にトルネード(竜巻)を作ってみよう  
～2つのペットボトルをつなぐとどうなるかな?～  
川崎市地球温暖化防止活動推進センター

3/19 (土) ニュートンの虹を作って色が変わるのを見てみよう  
～水性ペンの色も分けてみよう～  
川崎市地球温暖化防止活動推進センター

3/20 (日) LEDを使って光の三原色を学ぼう  
～3つの色を合わせると何色?～  
川崎市地球温暖化防止活動推進センター

3/20 (日) 手作りミニ顕微鏡で細胞を見てみよう  
～植物を大きくすると何が見える?～  
川崎市地球温暖化防止活動推進センター

3/26 (土) 快適なエアコンの使い方とエアコンの冷える仕組みについての簡易実験  
株式会社富士通ゼネラル

3/26 (土) シリカゲルの方で“ドライリーフ”“植物標本”を作ろう  
～光にかざして葉脈観察を楽しもう～  
日本工機材株式会社

3/26 (土) エコ緩衝材でデザインワークショップ  
佐野デザイン事務所

3/26 (土) トイレが世界を救う!  
～モザイクタイルのコースター作り～  
株式会社LIXIL

3/26 (土) 鉛筆から“泡”プクプク不思議な電池  
～燃料電池で電子オルゴールを鳴らそう～  
省エネグループ

3/27 (日) 国際宇宙ステーションのロボットアームを作ろう  
～気分は宇宙飛行士?～  
日本宇宙少年団 横浜分団

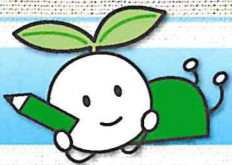
3/27 (日) 科学実験を楽しもう!  
野菜電池作り+模型の家の温度測定  
川崎サバイバル

3/27 (日) ペットボトルの中に雲を作ってみよう  
～空気泡も作ってみよう～  
川崎市地球温暖化防止活動推進センター

3/27 (日) SDGsカードで17の目標を学ぼう!  
～牛乳パックで“スマホスタンド”作り～  
3R推進プロジェクト

3/27 (日) つかめる水を作ってみよう  
～ぶよぶよ ぷるぷる 不思議な水～  
川崎市地球温暖化防止活動推進センター

3/26 (土) 国産材活用で脱炭素工作  
～お部屋のネームプレートを作ろう～  
グリーンコンシューマーズグループかわさき



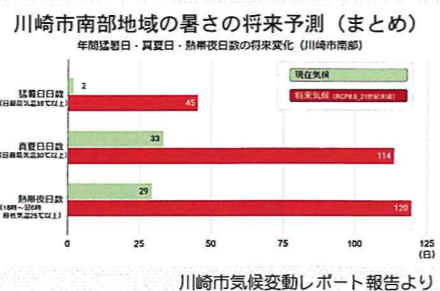
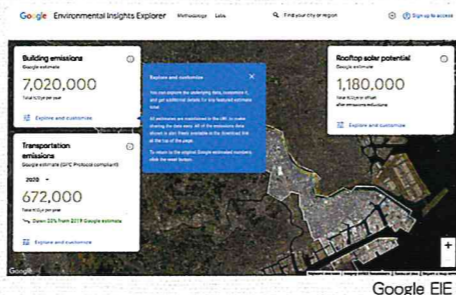
## 推進員研修

1月27日(木)・3月5日(土)

川崎市地球温暖化防止活動推進員は、川崎市から委嘱され、現在84名が活動しています。最新の情報を踏まえた活動をするため、以下のように2021年度の3回目と4回目の研修を行いました。

- 3回目：1月27日『Google EIE (都市ごとの建物と交通に由来する温室効果ガスの排出推定量と太陽光パネル導入による温室効果ガスの削減予測ツール)の活用法』と『都市における脱炭素型ライフスタイル(カーボンフットプリントと削減効果データブック)の活用法』
- 4回目：3月5日『川崎市気候変動レポート報告』と『地域エネルギー会社等の新たなプラットフォーム設立による地域の再エネ普及促進プロジェクト』

研修の成果は、小学校などでの環境出前授業などで活かされます。



1月から3月の  
テーマ展示・講座

## プラスチックについてもっと知ろう

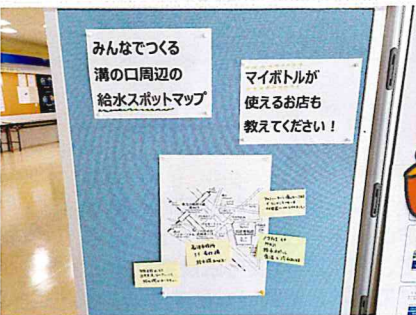
プラスチックについて多くの方に学んでいただくためのきっかけを提供するような展示を行いました。  
3月13日(日)、「プラスチックの問題」について、プラスチックが環境や健康におよぼす影響を中心に、東京農工大学の高田秀重教授によるオンライン講演会を行いました。映画『プラスチックごみ～日本のリサイクル幻想』の月イチ上映会を行い、3月20日(日)には映画『マイクロプラスチックストーリー～ほくらが作る2050年吹替版』のオンライン上映と子役声優と吹替版作成協力の大川印刷の今井氏のアフタートークを実施し、プラスチック削減への理解を深めました。



ペットボトルのリサイクルフロー



川崎市内の事業者の取組



みんなで作る溝の口周辺の給水スポットマップ

